

最優秀



題 名	祭り太鼓の響きによって港の波もカモメも楽しく踊っている
氏 名	築地 謹蔵(苫小牧市在住)
製 作 イメージ	港まつりの象徴とみられる、鼓笛隊の行進曲に合わせて、市民の人たちが踊っている姿を表わし、又、祭り太鼓の音頭の響きによって港の波も、カモメも祭り気分になって楽しく踊っている姿をメルヘン的な表現にしてみました。

優 秀



題 名	今までもこれからも苫小牧を照らし続ける明るいひかり
氏 名	内潟 碧(白老町在住)
製 作 イメージ	70回もの長い間、苫小牧に楽しさと明るさを届けて続けてくれた港まつりを、海に最深い灯台の灯に重ねて描きました。大きくて力強い光のある場所がたくさんの方が居るイメージがあり、お祭り会場もそんな感じかと思えます。 昭和、平成、令和の港まつりの風景を描くことで、時代が変わっても受け継がれていく楽しさ、お祭りの変わらない本質を表現しつつ70回という節目をイメージできたかと思えました。構成パーツが多いので描き込む部分や色づかいにメリハリをつけて全体のバランスを整えつつ、人物の顔はボカすことで、見た人が共感しやすい(身近な人)を当てはめやすくなるようにしました。 過去港まつり参考資料:保存版苫小牧東胆振今昔写真帖 郷土出版社 監修:山本融定

優 秀



題 名	金魚もたこ焼きも！皆で花火鑑賞
氏 名	矢幡 陽真理(苫小牧市在住)
製 作 イメージ	・苫小牧のシンボルであるハナショウブや樽前山はうちわの中に、王子製紙工場は夜景と一緒に描きました。 ・苫小牧の公式キャラクターのとまチョップは描くだけでなく、花火にもしました。(とまチョップをとにかく可愛く描きました！) ・市民おどりをしている女性や、ゆかたを着た女の子を船の上に描きました。 ・海は、花火が反射してカラフルになっている様子にしました。 ・市民おどりをしている女性のゆかたには、苫小牧市章の柄を取り入れました。 ・お祭りの定番商品の、たこ焼き、クレープ、ヨーヨー、金魚、りんごあめを、魚のように跳ねているイメージで描きました。

入 選



題 名	とまチョップと一緒に港まつり
氏 名	阿部 来桃(苫小牧市在住)
製 作 イメージ	大きな花火と波を後ろに港まつりが行なわれています。一人一人がこの港まつりを楽のしみすてきな時間をすごしています。そんな一人一人、全員がこの港まつりを楽しんでいることをイメージしました。

入 選



題 名	苦小牧沖浪裏
氏 名	河内 俊介(苦小牧市在住)
製 作 イメー	葛飾北斎の名作「神奈川沖浪裏」をオマージュし、港まち苦小牧らしいエッセンスを散りばめました。

入 選



題 名	とまチョップ花火
氏 名	中田 有咲(苦小牧市在住)
製 作 イメー	過去に打ち上げられた花火ととまチョップ花火を描いた。シンボルの港にフェリーをうかべて、苦小牧の海にした。おいしそうな屋台でかつたりんご飴を花火を見ながら食べているとまチョップにした。祭りで楽しんでいる女の子と男の子を2人描いた。祭りの楽しさを1枚につめこんだ。